

行政報告の主な内容（5課15項目）

(1)総務課	大雨被害について
	参議院議員通常選挙について
	ブロードバンド環境整備について
	自衛隊関係について
(2)保健福祉課	風しんワクチン助成事業について
	特定健診の実施状況について
(3)町民生活課	住民基本台帳に基づく人口動態について
(4)産業振興課	農作物の生育状況について
	町民ビアガーデンについて
	花と炎の四季彩まつりについて
	サッポロビアガーデンへの参加について
(5)教育振興課	英語指導助手の着任について
	児童生徒の部活動等における活躍状況について
	青少年国内外交流事業について
(6)総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成25年9月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第3回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る6月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告)

はじめに、大雨による被害ではありますが、8月に5度の局地的な集中豪雨により、町内の道路、河川等、また農作物に被害が発生したところがあります。

被害状況につきましては、公共土木部門において47箇所、土砂流出による日の出公園の被害を含め、総額2千956万円の被害となっております。

また、農業部門におきましては、降雹による豆類、カボチャ、ビートなどの葉の破損、突風による農作物の茎折れなどが見受けられ、今後、収穫期を迎えるにあたり懸念しているところであります。

いずれにいたしましても、近年増加している突発的な気象による被害につきましては、被害箇所等の検証を行い、適正に対応してまいりたいと考えております。

(総務課行政報告【総務班関係】)

次に、第23回参議院議員通常選挙についてであります。7月4日に公示、7月21日に投開票が行われました。

当町選挙管理委員会においては、投開票事務の適正な執行に努められ、

当日有権者数9千613人、投票者数5千667人、投票率58.95%で、前回投票率を8ポイント下回りましたが、全国平均を6ポイント、全道平均を4.5ポイント程度上回ったところでもあります。

また、期日前投票の投票者数は2千535人となり、全体の約45%を占め、期日前投票制度は着実に浸透しているところでもあります。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

次に、ブロードバンド環境整備についてであります。町内市街地における光通信サービスを11月15日から開始することが8月20日にNTTより正式発表され、現在市街地各所において準備が進められているところでもあります。

町内主要団体をはじめ、町内有志の皆様これまでの取り組みに対しまして敬意を表するところでもあります。

また、民間通信事業者による整備が見込めない農村部においては、市街地との情報通信環境の格差解消を図るため、現在、無線方式によるネットワーク通信網の整備に向けた伝播調査・設計を行っているところでもあります。

なお、農村部全域での実現を図るためには、整備後の利活用はもとより、数多くの中継局設置が必要となることから、それぞれの地域の皆様の特段のご理解とご協力をお願いするところでもあります。

(総務課行政報告【防災担当関係】)

次に防災協定についてであります。大規模災害時における公共施設の機能の確保及び回復のため、応急対応業務に関する協定を道北電気工事業協同組合富良野支部と7月26日に締結したところでもあります。

この協定を含めまして、これまで21部門の防災協定を締結しており、

今後も更なる協定の検討を行い、災害時における体制強化を図ってまいります。

次に地域の元気臨時交付金活用事業における緊急防災・減災事業についてですが、避難施設の自家発電装置設置事業として7月25日に西小学校・公民館・役場・保健福祉総合センターの4施設を対象に委託設計業務を契約したところであります。

(総務課行政報告【基地調整関係】)

次に、自衛隊関係についてですが、6月24日から27日にかけて北海道基地協議会及び上富良野町基地対策協議会によります防衛施設周辺整備対策中央要望を、7月31日には、北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会によります「自衛隊官舎の使用料値上げに反対する中央要望運動」を、8月28日には「北海道の自衛隊体制強化を求める中央要望運動」を行い、8月20日には、自衛隊協力会上富良野支部によります「上富良野駐屯地現状規模堅持の中央要望運動」を、それぞれ国会議員、防衛省に対して行ってまいりました。

さらに8月6日には、富良野地方自衛隊協力会主催によります、岩田北部方面総監をお迎えしての講演会を開催し、「我が国周辺の情勢と北部方面隊の対応」についての講話をいただくなど、80名の参加をいただいたところであります。

次に記念行事についてですが、これまでの間に第3地対艦ミサイル連隊創隊記念行事をはじめとして、島松駐屯地及び北海道補給処創立記念行事、第1特科団創隊・北千歳駐屯地開庁記念行事、旭川地方協力本部創立記念行事、上富良野駐屯地創立記念行事、千歳航空祭にそれぞれ参加したところであります。

(保健福祉課行政報告)

次に、風しん任意予防接種助成事業についてであります。都市部を中心に昨年度から風しんの発症者が急増していることから、先天性風しん症候群の発症を予防するための緊急対策として、7月1日より、実施したところであります。

8月末現在で、15人がワクチン接種を行っており、内訳として妊娠中の方のご家族(夫)が5人、今後の妊娠を希望される方が10人となっております。

これまで当町では、先天性風しん症候群に罹患したという報告はなく、風しんの流行もみられておりませんが、幼児期における2回の定期接種と合わせて、今回の緊急対策事業の周知を図り、感染症予防と先天性風しん症候群の発症予防に努めてまいります。

次に、今年度の特定健康診査(特定健診)の実施状況についてありますが、7月9日から7月19日の間で実施し、1千117人が受診されました。

また、JAふらの上富良野支所組合員を対象に実施したミニドック健診のほか、町立病院による個別健診を含めると8月末現在で、1千304人が受診を終えたところであり、受診率は、前年同期と同程度の59.0%となっております。

受診結果につきましては、脳血管疾患など重症化につながる対象者は確実に減少しており、特定健診がスタートした平成20年度の結果と比較すると、特定保健指導対象が大幅に減少している状況にあります。

7月の特定健診実施期間中は、高齢者・若年者健診、小学校5年生・中学2年生を対象としたかみふっ子健診のほか、肺・胃・大腸がん検診等を合わせて実施し、受診者総数は2千448人となったところであります。

なお、未受診者につきましては、11月に再度健診の機会をつくり、目標としている特定健診受診率70%を達成するよう努めてまいります。

(町民生活課行政報告【総合窓口班関係】)

次に、8月28日総務省が公表した3月末現在の住民基本台帳に基づく人口動態についてであります。当町におきましては、前年比142人減の1万1千586人となり、9年連続で減少しているところであります。

人口減の内訳につきましては、死亡者数から出生数を引いた「自然減」が12人、転出数から転入の数を引いた「社会減」は130人となっております。

(産業振興課行政報告【農業振興班関係】)

次に、農作物の生育状況についてであります。主要作物の一つである水稲につきましては、高温・多照により、すでに収穫作業に入っており、平年以上の収穫を期待するところであります。他の作物については、春の天候不順による耕起や播種作業の遅れにより生育の遅れがみられます。

加えて7月から8月上旬にかけての干ばつの影響で、現在収穫期を迎えた馬鈴薯については、減収が見込まれ、また、8月20日の豪雨と降雹により旭野地区を中心に、小豆の茎折れや馬鈴薯の流出、スイートコーンの倒伏が見られ、同様に収量減が懸念されているところであります。

いずれにいたしましても、本格的な収穫期を迎えるにあたり、農作業の安全に努めていただき、よりよい出来秋が迎えられるよう期待をしているところであります。

(産業振興課行政報告 [商工観光班関係])

次に、6回目を迎えた「まるごと かみふらの」ビアガーデンについてありますが、7月13日、「まるごとかみふらの“四季彩”実行委員会」の主催により開催されました。さらに、花と炎の四季彩まつり会場においてもPR販売を実施し、多くの皆様に楽しんでいただくことができました。

また、昨年度商品化した瓶ビールにつきましても、本年度は3千本を製造し、町内飲食店や観光事業所での商品活用とあわせ、ノロッコ号15周年記念事業の一環として上富良野駅ホームにおいても販売し、広くPRに努めたところであり、上富良野ブランドの一つとして、地域経済の振興につながることを期待しているところであります。

次に、7月28日に開催した「第35回2013花と炎の四季彩まつり」についてですが、町内外から約2万5千人の来場者をお迎えし、ご当地キャラクター「らべとん」のお披露目と「かみふらのPR大使」の任命式を行うとともに、ステージショー・行灯行列・花火等の行事が予定どおりに行われ、盛会裡に終了することができました。

早くから行灯の製作をはじめ、イベントの準備・運営にご尽力いただきました関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

次に、本町のPR活動についてありますが、8月7日に札幌大通公園西8丁目の「サッポロビアガーデン会場」において開催されました「ふるさと北海道応援企画」に参加し、十勝岳・ラベンダー・かみふらのポークなどの観光資源の紹介をはじめ、関係機関の皆様の協力・参加を得て、観光PR活動を行ってきたところであります。

(教育振興課行政報告【社会教育班関係】)

次に、新しい英語指導助手の着任についてであります。これまでご活躍いただいたグレン・オグデンさんの後任として、本町の友好都市でありますカナダ国アルバータ州カムローズ市から、ブレンダ・クヌールさんをお迎えしたところであります。

ブレンダさんにつきましては、カムローズ市の小学校の教師をされており、明るい性格であり、地域に早く溶け込み活躍されることを期待しております。

次に、児童生徒の部活動等での活躍についてであります。小学生においては、ジャガーズ野球少年団が7月13日から帯広市で開催された「第33回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント北北海道予選大会」に出場し、準優勝を、また、上富良野小学校スクールバンドが旭川地区予選大会で金賞を受賞し、第58回北海道吹奏楽コンクールに出場するなど各大会において優秀な成績を収めております。

中学生においても、中体連の地区大会において、日頃の練習成果を発揮し、上富良野中学校の陸上部、卓球部、柔道部が、それぞれ全道大会に出場するなど児童生徒の活躍を称えるものであります。

このほか、町内の高校生では、北海道高等学校陸上競技選手権大会で優秀な成績を収めた3名が全国大会に出場を果たし、また、上富良野高等学校野球部につきましては、夏の北北海道大会旭川支部予選に出場し、一回戦で惜しくも敗れる残念な結果となりましたが、選手諸君の活躍を称えるとともに、今後に大きな期待を寄せるところであります。

次に、青少年国内外交流事業についてであります。国内交流においては、7月21日から23日までの日程で津市安東小学校から10名の児童と校長、引率教員2名の総勢13名が来町いたしました。

この間、西小学校の児童との交流会、児童宅でのホームステイや町内の視察研修などを行い、安東小学校と西小学校の友好の絆をさらに深めたところでもあります。

次に、国際交流事業についてであります。教育長が団長となり、7月26日から8月3日までの日程で中高生11名と引率者の総勢15名によりカムローズ市の視察研修のほか、エドモントン、バンフ、バンクーバーを訪問し、自然や文化などに触れ、貴重な体験と交流をしてきたところでもあります。

特に、本町の友好都市でありますカムローズ市においては、マーシャル・チャーマーズ市長、ダグ・ボウイ教育長をはじめ市民の温かい歓迎を受け、歓迎レセプションなどを通じ、交流を深めることができました。

また、参加した生徒においては、ホームステイによりカナダの文化や生活習慣に触れ、有意義な体験をすることができ、参加した生徒の今後の進路や将来に役立つことを期待しております。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

最後に、建設工事の発注状況についてですが、6月定例町議会で報告以降に入札執行した建設工事は、8月28日現在、件数で21件、事業費総額で1億3千569万1千5百円で、本年度累計では38件、事業費総額19億7千203万4千4百円となっております。

詳細につきましては、お手元に、「平成25年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、御高覧いただきたく存じます。